

「ひとりでできる」力を高める授業カード

【知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程／
準ずる教育課程】

小学部

小学部 小低Bグループ 教科・領域：音楽


単元名：タンバリンの演奏を楽しもう

本時の目標


- ・音楽に合わせて身体の一部を隠したり触ったりすることができる。【知識・技能】
- ・聴らずタイミングや鳴らし方を意識して演奏をすることができる。【思考・判断・表現】
- ・タンバリンの鳴らし方に積極的に取り組むことができる。【主体的】

	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム ・あいさつ ・予定確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムの音を鉄琴で鳴らして音に注目する準備をする。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○曲に合わせて身体を動かす ・「かみなりどんがやってきた」の歌詞に出てくる身体の一部を触る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標はシールで週数を示し、それをはがすことで達成を確認できるようにした。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○演奏方法の工夫を行う ・「ハイ！タンブリン」に合わせてタンバリンを鳴らす振り付けを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲のフレーズによって演奏方法を変える。手本を示しながら行う。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○学びをふりかえる。 ・頑張った活動を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見が出ない児童にはカードをタッチして選ぶ。

【ひとりでできる！につながる工夫】



・活動前に曲に出てくる身体の一部を確認してから曲のリズムに合わせて行う。動きがゆっくりな児童にも合わせることができるよう、音源とウッドブロックのリズムを併用して活動のスピードを調整した。



・曲に合わせる前に、どう鳴らしたらどんな音が奏でることができるのか児童が実際に鳴らして確かめることができるよう、練習する時間を設けている。


単元名：カラフル色水

本時の目標


- ・色水を合わせる活動を通して、色の変化に気付く【知識・技能】
- ・どんな色になるかイメージをもち、2色の色水を混ぜ合わせ、面白さや楽しさを感じる。【思考・判断・表現】
- ・作った色水から、思い付いたことを発表する。【主体的】

	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・本時の活動を知る ・教員の手本を見る 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動手順はイラストで示すと共に、児童の前でも手本を示す。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○色水をつくる（花紙を水に入れてボトルを振る） 	<ul style="list-style-type: none"> ・花紙は予め細かく切ったものを用意した。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○色水を合わせる（絵具を薄めて作った色水を合わせオリジナルの色を作る） 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が少ない介助で活動できるよう、100mlのボトルに色水を用意した。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞 ・友達の色水を見たり、自分の色水のアピールポイントを発表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見立てを言葉で表すことが難しい児童は、教職員が〇〇みたいだねと表現した。


【ひとりでできる！につながる工夫】



・透明の大きなボウルの中に色水を順に入れ、色の変化の様子を分かりやすく示した。



・どの児にとっても100mlのボトルは操作しやすく、他の容器に色水を移し替えながら、色を合わせていた。



・カップをトレーの中に入れることで、少しこぼしたとしても、活動を中断することなく進めることができた。

小学部 小低Bグループ 教科・領域：生活単元学習


単元名：おおきなあれ わたしのやさい

本時の目標

- ・野菜の名前や色の違いが分かる。【知識・技能】
- ・野菜の植え付けや育成を通して、収穫の喜びを感じ、制作・調理をする。【思考・判断・表現】
- ・授業の流れに見通しをもちながら、積極的に授業に参加しようとする。【主体的】

【ひとりでもできる！につながる工夫】


	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・前回の振り返り ・今日の授業内容を確認する。「野菜スタンプ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れを分かりやすく伝える。 ・活動の順番を児童が確認できるようにする。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜の断面を見る。 ・野菜を切ると側面とは違う形に見えることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に切った野菜の断面を見て、形の違いを感じられるようにする。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜スタンプをする。 ・スタンプする野菜を決める。 ・絵の具の色を決める。 ・スタンプする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がスタンプしてみたい野菜や色を選択できるように、写真や色見本を用意する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○発表 ○次回の予告をする。「調理」 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が、次の活動に期待感がもてるようにする。



なにを しゅうかくした？

とまと なす ピーマん


○夏野菜
・本単元を通して、育成した夏野菜を実際を使って、活動を行った。時間をかけて大きく育った野菜を手にとって見ることで、自分が育てたのだという実感を味わってほしかった。



野菜スタンプする

うちわ

○視覚的教材
・活動の進め方やルールの提示はスライドに映して児童に伝えるようにした。先生の話聞いて、自分でやることが分かる授業を目指した。



野菜スタンプするやさしい色 色見本

なすピーマン とうもろこし

○自分で選択する、スタンプする
・選択肢を用意したプリントや色見本を提示して、自分で選択することを大切に。選択肢の数や見やすい提示方法を工夫した。

小学部 小高Bグループ 教科・領域：日常生活の指導


単元名：係活動

本時の目標

- ・係ボードで自分の係活動を確認し、自分の係活動に必要なものやすることが分かる。【知識・技能】
- ・「はじまりの会」で自分の行った係活動について適切に報告することができる。【思考・判断・表現】
- ・自分の係活動が分かり、責任をもって取り組むことができる【主体的】


【ひとりでもできる！につながる工夫】

	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○係ボードを見て自分の担当を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の顔写真と係を隣に掲示し、自分の係を見つけやすくしている。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の係活動に取り組む。 ○欠席の児童がいた場合はボードを確認して、代わりに係を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動に必要なものの場所が児童に分かるように配置を整理した。児童が操作するもの、掲示するもので磁石の強さを調整している。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○係活動が終わったら、係ボードに「OKカード」を貼る。 ○チャイム時計が鳴り終わる前に着席する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「OKカード」は児童が届く高さに設置した。のりバネで高さを出し、児童が持ちやすいようにした。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○係活動で自分がしたことについて「はじまりの会」で全体に報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じて教職員と一緒に報告したり手元に成果物をおいて報告している。




・係の表示はシンボルマークとふりがなを付け、氏名の横には写真を付けたことで、教職員の支援がなくても自分の係活動を確認できるようにした。

・係活動と児童名を横並びに配置し確認しやすくした。



・係活動に必要なものの場所が児童に分かるように配置を整理した。児童が操作するもの、掲示するもので磁石の強さを調整している。



・司会係に使うボードでは、係の横に児童の写真の貼ることで、司会の児に分かりやすくした。また、児童の実態に応じて2種類の大きさものを用意した。

小学部 小高Bグループ 教科・領域：音楽

単元名：リズム・拍子に合わせて演奏しよう

本時の目標

- ・楽器演奏では、それぞれの楽器の演奏方法を知り、リズムや拍子に合わせて演奏する。【知識・技能】
- ・音色を聴いて、自分の好きな楽器を選ぶことができる。【思考・判断・表現】
- ・手本や合図、楽譜をたよりに、友達との音楽活動を楽しむ。【主体的】

【ひとりでできる！につながる工夫】

	本時の展開	配慮事項
導入	・あいさつ ・活動紹介	・活動を紹介することで、本時の学習への見通しをもたせる。
展開①	○選択・決定する力を高める ・演奏したい楽器を選び、自分で決めた演奏パターンどおりに練習する。	・音色の違う楽器や複数の演奏パターンを用意し、自己選択・決定の機会を作る。
展開②	○ルールを守る意識を高める ・決められた順番で演奏発表する。	・事前に決めた順番に沿って演奏発表させるとともに、友達の演奏を静かに聴くように促す。
まとめ	○学びを振り返る。 ・学習したキーワードから内容を思い出す。	・大型モニターにキーワードを映し出し、学びの定着を図る。



・自分で責任をもって選ぶ・決めることを通して、主体的に音楽活動を楽しむ経験を積むようにしている。【生活一般における「自己選択・決定」及び「興味・関心の拡大」に関する力の育成を意識】



・「順番を守ること」「友達の演奏を静かに聴くこと」を意識することで、決められたルールを守る力の育成を図っている。【就労後の「職場内のルール遵守」に関する力の育成を意識】



・学習内容を振り返りまとめることで、音楽表現に必要な知識・技能の定着を図るようにしている。【就労後の「仕事に必要な知識・技能の習得」に関する力の育成を意識】

小学部 小高Bグループ 教科・領域：図画工作

単元名：ハブルアート

本時の目標

- ・泡を使ってできる模様や色の重なりに気付き、配色や色の付け方を工夫することができる。【知識・技能】
- ・自分に合った制作方法を見付け、泡で描く表現の面白さや不思議さを感じることができる。【思考・判断・表現】
- ・自分の作品や友達の作品を鑑賞し、作品の良さを見付け発表することができる。【主体的】

【ひとりでできる！につながる工夫】

	本時の展開	配慮事項
導入	・あいさつ ・活動紹介	・活動を紹介することで、本時の学習への見通しをもたせる。
展開①	○選択・決定する力を高める ・制作活動に必要な道具・教材を自分で選択し活動場所まで運ぶ。	・車いすや独歩移動の児童もいるため、周囲の机や延長コード等導線の確保をする。（安全確保）
展開②	○制作する。 ・自分に合った道具やその使い方を理解する。 ○作品を鑑賞する。 ・自分や友達の作品を鑑賞し良さを見付ける。	・活動グループでまず鑑賞を行い、その中から最も良い作品を選ぶ。その後、全体で共有し、児童の自己評価とSTの他己評価を発表する。
まとめ	○学びを振り返る。 ・学習したキーワードから内容を思い出す。	・大型TVにキーワードを映し出し、学びの定着を図る。



・制作活動に必要な道具・教材を机に並べ、必要な個数を示したデジタルカードを横に提示することで、児童が自分で数えながら道具・教材を準備できるようにした。児童数が多い場合は、机を複数個所設置することで準備時間を短縮させる。



・教材を自分で責任をもって選ぶ・決めることを通して、主体的に制作活動を楽しむ経験を積むようにしている。【生活一般における「自己選択・決定」及び「興味・関心の拡大」に関する力の育成を意識】



・学習内容を振り返りまとめることで、制作表現に必要な知識・技能の定着を図るようにしている。【就労後の「仕事に必要な知識・技能の習得」に関する力の育成を意識】

本時の目標

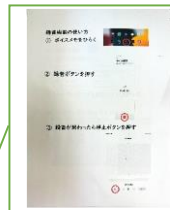
- ・作成したゲームを他の教員に試してもらい、改善点について質問することができる。【知識・技能】
- ・作成したゲームについて説明したり、工夫点について伝えたりすることができる。【思考・判断・表現】
- ・他の教員にももらったアドバイスについてメモを取り、自ら改善しようとする。【主体的】

【ひとりでもできる！につながる工夫】

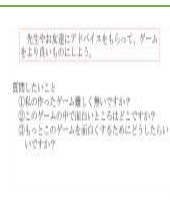
	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・授業準備 ①ルーターを一人で借りる ②wifiに自分でつなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーターの借り方、つなぎ方を文章にして示す。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○作成したゲームについてのアドバイスをもらうための質問項目や伝えたい内容を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを用い、質問項目について考える。自分で考えられるように発問・助言する。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○作成したゲームを他の教員に試してもらい、アドバイスをもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモをその場で取るのは難しいため、録音機能を使用する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の改善について考えワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアシートを用いて、録音した内容を聞きながら、今後の工夫について考えられるようにする。



・「ルーターの借り方、つなぎ方の説明書」
説明書を見ながら、自分でルーターを借りに行き、つなげられるようになった。



・「録音機能」
教員にアドバイスをもらう際に、メモ代わりに使う機能。使い方を示すことによって、自分で録音作業ができるようになった。



・「アイデアシート」
教員と一緒に作成したシート。今後の改善に役立てるために、教員や児童にゲームの良かったところと改善点を聞き、今後の工夫について考えるためのシート。

「ひとりでできる」力を高める授業カード

【知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程
／準ずる教育課程】

中学部

中学部 Bグループ 教科・領域：理科・社会


単元名：身の回りの植物やその特徴を知ろう。

本時の目標


- ・植物の特徴や差異・共通点に気付くことができる。【知識・技能】
- ・インターネットを活用して、項目に従って検索することができる。【思考・判断・表現】
- ・興味のある生物について調べ学習を進めることができる。【主体的】

【ひとりでもできる！につながる工夫】


	本時の展開	配慮事項
導入	・あいさつ ・本日の目標 ・項目の説明	・ワークシートをテレビに映し、項目ごとの検索方法と記入例を示す。
展開①	○調べ学習 ・ワークシートの項目に沿って、インターネットを活用して調べる。	・項目を精選したワークシートをそれぞれのタブレット端末に予め入れておく。
展開②	○発表 ・調べてまとめたものを発表し、情報・成果を共有する。	・モニター画面に完成したワークシートを投影させて、生徒全員が成果を見えるようにする。
まとめ	○まとめ ・特徴に注目し、共通点や差異に気付く。	・キーワードをホワイトボードに書き、共有できるようにする。



・テレビにワークシートとインターネット検索画面を映し、教員が実際に行って手本を示した。就労後の「手本を見たり、説明を聞いたりして、仕事内容を理解する」に関する力の育成を意識した。



・ワークシートの基本的な様式は統一し、記入する箇所が分かるようにした。項目は平仮名で書き、生徒が自分で読み取れるようにした。就労後の「項目に沿った問の理解と記入」に関する力の育成を意識した。



・ミラーリングで生徒が自分でモニターに映し、発表した。生徒同士がコミュニケーションを取りながら協力して、発表を進められるようにした。就労後の「コミュニケーションを取りながら協力して仕事を進める。」に関する力の育成を意識した。

中学部 Bグループ 教科・領域：国語・数学


単元名：お金と数の学習

本時の目標


- ・金種について知り、両替えについて学びながら、数についての感覚を身に付けることができる。【知識・技能】
- ・お金の組み合わせ方について考えて買い物の金額を作ったりすることができる。【思考・判断・表現】
- ・お金の金額に関心をもち、買い物に必要な金額を作ってみようと試行錯誤することができる。【主体的】

【ひとりでもできる！につながる工夫】

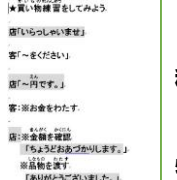
	本時の展開	配慮事項
導入	・あいさつ ・振り返り	・「ちょうどの金額」をそろえて買い物に行くことを想定していることを伝える。
展開①	○両替の復習を行う。 ・問題を提示し、100円玉は10円玉何枚分か等の確認を行う。	・位ごとに分けられるように、小さいホワイトボードに線を引く。
展開②	○買いに行くものを決める。ホワイトボードにお金をそろえる。 ○買い物体験を行う。	・生徒の実態に合わせて、買い物の品数と金額を決める。 ・セリフの練習を行う。
まとめ	○いくらのものを買ったのか、位通りにお金をそろえられたか確認する。	・それぞれのホワイトボードを見ながら確認する。



・位が分かりやすいように、ホワイトボードに位ごとの部屋を作った。
・硬貨では、バラバラになって操作しにくかった生徒もいたためホワイトボードに貼れるようにし、操作しやすいようにした。



・品物の確認がしやすいように、磁石で晴れるようにした。
・生徒が意欲的に活動できるように事前に欲しい品物のアンケートをとった。
・物価の感覚を得られるように、品物に合う金額を設定した。



・教科の領域が「国語数学」であることを意識し、模範のやり取りの原稿を決めた。
・生徒が、自信をもってやり取りできるように練習を行ってから、買い物体験を行った。

中学部 Cグループ 教科・領域：外国語

単元名：英語でインタビューをしよう。

本時の目標

- ・授業の中で習得した単語や文法を使ってできる限り英語で質問することができる。【知識・技能】
- ・相手に聞こえるような声や分文章の抑揚を意識して伝えることができる。【思考・判断・表現】
- ・質問した相手に対して、自らアドリブで会話を続けることができる。【主体的】

	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・授業説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の内容をホワイトボードに詳細に示す。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○会話文の読みの練習をする。 ・パートに分かれて読む。 ・下線部の単語を入れ替えて練習してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習と言うことを意識してゆっくり読むように伝える。 ・相手の目を見て話すことを意識させる。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○職員室にいる教員とロールプレイを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・綴りなどが難しい場合には、カタカナなどを使用して良いとした。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○インタビューした内容の答え合わせを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい綴りの単語はこの時間に辞書やタブレットで調べ記入する。

【ひとりでできる！につながる工夫】

事前にホワイトボードに示しておくことで「今日やること」を明確にし、インタビューに向けて心の準備をすることができる。



学年が同じ教員などを行うことで担任の支援なしで主体的に取り組むことに繋がる。実際に対面で行うことで相手の声色、視線、表情を意識して話すことができる。



その場で書くことが難しい単語でもカタカナやひらがなでメモを取っておくことで自分の力でタブレットなどを利用し、調べることができる。

「ひとりでできる」力を高める授業カード

【知的障害を併せ有する児童・生徒の教育課程
／準ずる教育課程】

高等部

高等部 Bグループ

教科・領域：作業学習




単元名：ソープ作成 リサイクル

本時の目標

- ・職業生活に必要とされる知識及び技能を身に付けること。【知識・技能】
- ・使用する道具や機械等の扱い方を理解し、作業課題に責任をもち正しく扱うこと。【思考・判断・表現】
- ・安全や衛生及び作業効率について考え、改善を図ること。【主体的】

	本時の展開	配慮事項
導入	○あいさつ ○準備体操	・本時の時間や目標の確認をする。
展開	○自分たちの役割の仕事を行う	・生徒に合った教材を使い一人で作業できるように工夫した。
まとめ	○学びをふりかえる。 ・目標達成の確認などを行う。	・振り返りシートを使い発表を行い、次の作業に生かす。

【ひとりでできる！につながる工夫】

	・最初に望ましい話し方集を生徒に提示して正確なコミュニケーション力をつける。
	・緊張が強い生徒でも自分で役割をできるように教材開発して活用している。
	・去年からの引き続きで自己評価と他者評価の欄があり、就労後の「日誌の記入や取扱い」に関する力の育成を意識した。

高等部 Bグループ

教科・領域：国語・数学

単元名：時刻と時間

本時の目標

- ・時計文字盤の短針及び数直線を読むことができる。【知識・技能】
- ・時計の文字盤が示す時刻と数直線上の数字を照らし合わせることができる。
- 【思考・判断・表現】
- ・授業の始まりや終わりに時間を意識して行動することができる。

	本時の展開	配慮事項
導入	・自分で出席確認を行う。 ・あいさつ	・毎時同様の導入を用いることで、興味関心をもてるようにする。
展開①	○前時の振り返り（短針の読み方、数直線の基準を見つける）	・前時で使用したワークシートを用いて空欄補充を行う。
展開②	○時計の文字盤の短針と数直線上の時刻を照らし合わせて架空の物語を完成させる。	・ワークシートでは数直線を中心に考えることを伝える。
まとめ	○まとめ、答え合わせを行う。	

【ひとりでできる！につながる工夫】

QR	・QRコードを教室前方に掲示し、生徒教員に呼名を行うことをせず、自ら出席を行うことができるようにした。
	・生徒が一人で問題を解けるように問題の配置を考え、答えに結び付く要素を問題の中に組み込んでいる。 ・また、生徒の実態によって、手書きやマジックテープ等生徒の実態に分けている。

高等部 Bグループ 教科・領域：美術

単元名：『ポスター制作 ～たくさんの人に知ってもらおう～』

本時の目標

- ・写真撮影について特徴を知る。
- ・構図を決めて写真を撮る。【知識・技能】
- ・構図や条件によって、伝わり方や仕上がりが違うことを理解する。【思考・判断・表現】
- ・鑑賞を通して自分の見方や感じ方を広げ、主体的に活動に取り組むことができる。【主体的】

	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・準備体操 ○撮影の基礎を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影の基礎は、クイズ形式で問題を出し、楽しみながら理解できるようにした。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○撮影知識を高める ・まずは考えて撮影してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影に使用する様々な装飾物を準備して、選択できるようにした。また、撮影しやすいように補助具も準備した。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○撮影技能を高める ・改善点を聞いたり、友達の作品を見たりして、改めて撮影する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影した写真の改善点があれば、1点だけ伝え、改善できるようにした。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○学びをふりかえる。 ・お互いに作品を鑑賞して感想を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・否定的な意見が出ないように、良い点を言ってもらおう。

【ひとりでできる！につながる工夫】

	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例の写真を並べて、ほとんどの問題は二択式で選びやすいようにした。また、設問自体も分かりやすく、答えやすいものにした。
	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影にあたっては、個人のタブレット端末を使用するようにし、撮影しやすい環境も整えた。具体的な撮影位置や距離など見本を示した。装飾物は多めに準備した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・改善点を伝える前に良い点を評価するようにした。その評価を他の生徒にも伝え、具体的な良さを伝え、参考になるようにするとともに、次の撮影のモチベーションになるようにした。また、改善点は具体的な方法を伝えるようにした。

高等部 Bグループ 教科・領域：理科・社会

単元名：ひかげとひなたの気温

本時の目標

- ・温度計の使い方を知り、気温を計ることができる。【知識・技能】
- ・いくつかの観測結果から、日陰と日向の気温の関係について、考えることができる。【思考・判断・表現】
- ・授業で学習したことを生活にいかそうとする態度がみられる。【主体的】

	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・前回の復習 ・今回の予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の学習を簡潔に聞き、自分で思い出せるよう促す。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○温度計のつかい方 気温を測る方法を知り、ひかげとひなたの気温を測る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・温度計の使用手順をモニターで示す。また、活動中に自分で確認できるように手順書を用意する。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○天気と気温の関係 ひかげとひなたの気温について、自分の結果や友達の結果をまとめて、その傾向を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかげとひなたの記録について、友達と記録の交換をして、その傾向を考える。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつまとめた内容を発表する。

【ひとりでできる！につながる工夫】

	<ul style="list-style-type: none"> ・温度計の使用手順について、使用手順を映像で解説して確認したあと、実際にひとりで手順を確認しながら、温度計を使用して気温を測ることができるよう手順書を配布した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな数直線上に、一人一人自分の結果を張り付ける。一目見て理解できるよう、ひかげとひなたのデータの色を変えた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめた内容を発表する時間をつくった。データをまとめる前に生活経験から、結果を予想したり、今回の学習を通して日常生活に生かせることなどを記入できるようにシートを使用した。

高等部 Bグループ 教科・領域：美術

単元名：『ポスター制作 ～たくさんの人に知ってもらおう～』

本時の目標

- ・写真撮影について特徴を知る。
- ・構図を決めて写真を撮る。【知識・技能】
- ・構図や条件によって、伝わり方や仕上がりが違うことを理解する。【思考・判断・表現】
- ・鑑賞を通して自分の見方や感じ方を広げ、主体的に活動に取り組むことができる。【主体的】

【ひとりでできる！につながる工夫】

	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・準備体操 ○撮影の基礎を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影の基礎は、クイズ形式で問題を出し、楽しみながら理解できるようにした。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○撮影知識を高める ・まずは考えて撮影してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影に使用する様々な装飾物を準備して、選択できるようにした。また、撮影しやすいように補助具も準備した。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○撮影技能を高める ・改善点を聞いたり、友達の作品を見たりして、改めて撮影する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影した写真の改善点があれば、1点だけ伝え、改善できるようにした。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○学びをふりかえる。 ・お互いに作品を鑑賞して感想を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・否定的な意見が出ないように、良い点を言ってもらう。



・具体例の写真を並べて、ほとんどの問題は二択式で選びやすいようにした。また、設問自体も分かりやすく、答えやすいものにした。



・撮影にあたっては、個人のタブレット端末を使用するようにし、撮影しやすい環境も整えた。具体的な撮影位置や距離など見本を示した。装飾物は多めに準備した。



・改善点を伝える前に良い点を評価するようにした。その評価を他の生徒にも伝え、具体的な良さを伝え、参考になるようにするとともに、次の撮影のモチベーションになるようにした。また、改善点は具体的な方法を伝えるようにした。

高等部 Bグループ 教科・領域：外国語


単元名：英語を使って注文しよう

本時の目標

- 外国と日本の、レストランでのマナーの違いを知る。【知識・技能】
- ・簡単な英単語の語彙を増やす。
- ・外国語の音声に親しむ
- 【思考・判断・表現】
- ・自分の気持ちや意思を伝える。
- 【主体的】
- ・相手の方を見ながら伝える。

【ひとりでできる！につながる工夫】


	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・曜日・日付・天気の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めに繰りかえし行うことで、定着を図る。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○OALTとJTのやり取りを見たり聞いたりしながら、大まかな内容を知る。 ・基本表現を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援として具体物や画像を提示し、日本語訳がなくても理解できるようにする。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○OALTと実際にやり取りをする。 ・発語が難しい場合は、具体物を指差してALTの質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェルトで作った大きな食パンや野菜を用いることで、見ている生徒にもよく分かるようにやり取りする。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りと講評を行い次回に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成感を視覚化できるように色画用紙のパスポートにシールを貼る。



・毎時間外国に関するシールを色画用紙のパスポートに貼ることで、達成感が得られるようにした。シールは様々な形や色合いの物を用意し、選択する楽しみがもてるようにした。



・サンドイッチの具材は、20cm～30cmの大きなものを使うことで、インパクトがあり、やり取りを見ているほかの生徒にも、何をしているかがよく分かるようにした。



・チップは10%～20%が普通であるが、財布の中にあらかじめ千円札と100円硬貨を数枚入れておくことで、適正な金額を出しやすかった。

・取り出したお金がよく見えるよう白いトレイを用意した。

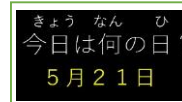
単元名：整理・整頓をしよう

本時の目標

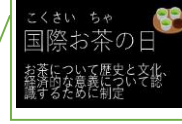
- ・身の回りの環境に気付き、分類や整理ができる。
- 【知識・技能】
- ・実施前と後の変化に気付き、伝え方を工夫して相手に伝える。
- 【思考・判断・表現】
- ・整理整頓に関心を持ち、生活の場や身近な環境に意識を向けようとする。【主体的】

	本時の展開	配慮事項
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・「今日は何の日？」 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時同様の導入を用いることで、興味関心をもてるようにする。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○整理・整頓の意味を知る ・画像を見比べて、その様子を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像を複数用意し、見比べられるように、また、教室環境も変化させ、気付くようにした。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○整理・整頓をやってみる ・実際の物を使って、「要・不要」の判断をし、分別する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見本で活動提示した後、個々の教材を用意し、作業することで、自分で判断できるようにした。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ピフォーアフターを見比べる ・比較して何が違うか、どう感じるかを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整理整頓した場所を含め、画像で残しておく、発表場面で見比べられるようにした。

【ひとりできる！につなげる工夫】



・授業の日は「何の日か？」という導入を行うことで、日を意識したり、その情報に意識を向けたり、自ら情報を調べたりできるようにした。理解が難しい生徒には語呂合わせを読んで発表をするよう促した。卒後の「人との会話（雑談・会話の導入）」に関する力の育成を意識した。



・カゴに収まる程度の物を一つ一つ確認し、手に取りながらの作業活動をする中で、自分の基準をもって「要・不要」を決められるようにした。生活場面での「身支度・片づけ」や「清潔」に関する力の育成を意識した。



・画像を残して提示することで整理した部分を指摘したり、見比べてその変化に気が付くことができたりするようにした。発表場面でも活用し、言葉で説明が難しい生徒でも、視覚的にわかる形で発表できた。相手に伝える方法の一つとして「画像を活用すること」を意識した。